



平成30年宇佐市消防出初式



平成30年1月13日（土）に宇佐市総合運動場で宇佐市消防出初式が盛大に開催され、宇佐市消防団（時枝憲幸団長以下全21分団）と市消防本部（和氣久義消防長）から多数の職団員が出場しました。

分列行進、人員報告に続き是永市長が式辞を述べた後、平成29年中に消防防災に協力していただいた方々や長い間消防団活動に従事している団員の方に感謝状や表彰状を送りました。

県知事代理の神志那貴雅消防保安室長や佐田則昭宇佐市議会議長ほか国会議員をはじめ多数のご来賓の方々に祝辞をいただきました。また、豊川こども園幼年消防クラブによる和太鼓演奏、梯子車をはじめ宇佐市消防団全分団による一斉放水が行われ式典に華を添えてくれました。

最後に宇佐市議会斉藤文博総務常任委員長の「火の用心三唱」で本年の無火災、無災害を祈り、出初式を終了しました。



人員服装点検



梯子車からの放水



豊川こども園の演奏

団 長 挨拶



市民のみなさま、あけましておめでとうございます。昨年4月に宇佐市消防団長に就任しました時枝憲幸です。平成30年の輝かしい新春を迎え、市民のみなさまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年県下では7月の九州北部豪雨や、9月の台風18号に伴う県南地域での豪雨被害など、立て続けに大災害に見舞われました。近年は全国的に、大災害が多発しており「いつ、どこで、誰が」被害を受けるかわかりません。

このような状況の中、平成23年の東日本大震災の教訓を踏まえて、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が成立、施行され、現在消防団でも装備や訓練の充実強化を行っているところであります。

近い将来には、南海トラフを震源とする巨大地震もかなりの高い確率で発生すると予想されている中、消防団は「自分たちの町は、自分たちで守る」という崇高な消防精神と、強い郷土愛の精神をもって市民のみなさまの「生命、身体、財産」の保全、保護に邁進する覚悟であります。みなさまには、今後とも消防団活動に対するなお一層のご理解と更なるご協力を申し上げます。

終わりに市民のみなさまのご健勝とご多幸を、そして本年が災害のない一年でありますようご祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

分団紹介 第15分団



私たち第15分団は、宇佐市院内町南院内地区（南院内小学校区）で、分団長以下71名の4部で構成されており、各部ごとに定期的に車両点検や放水点検を行っています。

近年、頻発する豪雨災害や行方不明者の捜索など消火活動だけではなく、消防団の必要性が多く求められていると感じ、そこでいかに迅速に組織として動けることが重要だと考えています。

「自らの地域は自らで守る」をもっとうに安心安全に暮らせるよう、消防精神をもって活動しています。

近年、仕事柄緊急時に出勤できない団員が増えている現状がありますが、地域のみなさまの協力と理解をいただきながら、今後も団員の募集活動を行い、迅速な活動ができる消防団を目指していきたいと思っております。

女性部より

現在宇佐市消防団女性部は1月に新入団員を迎え、植木部長をリーダーとして12名で活動しています。女性部の活動は災害時は情報収集や後方支援活動を行い、普段の活動は火災予防週間に広報活動や保育園等を巡回し園児に火災予防の「紙芝居」を行ったりしています。また、来年度からは救急講習の指導員資格を取得し、救急講習を行う予定です。宇佐市内に居住、通勤（通学）する方で18歳以上60歳未満の方であれば誰でも参加できます。あなたの想いがこの街を守るエネルギーになります、私たちと一緒に活動してみませんか！？



平成29年度防火標語

「火の用心 ことばを形に 習慣に」